

1月18日「愛するチンチラの日」記念日登録
同日にチンチラ国勢調査の途中集計を発表
～JCA 一般社団法人日本チンチラ協会～



一般社団法人日本チンチラ協会(=JCA 鈴木理恵会長)は、1月18日を『愛するチンチラの日』に記念日登録を申請、昨年11月18日に正式に登録された。

この記念日を登録することになった理由を、同協会は日本記念日協会への申請内容に記している。

「チンチラとはネズミの仲間のげっ歯目で、ふわふわの毛が特徴の愛らしく賢い動物。JCAはチンチラを健全に飼う上での必要な知識をわかりやすく発信しています。記念日を通して、チンチラの飼育環境について広く知ってもらうことが目的です。日付は一生歯が伸び続けるチンチラは、歯の健康がそのまま身体の健康と直結していることから、1と18の118を「いい(11)歯(8)」と読んで1月18日としたもの。118を「イチイチハチ」と読むとチンチラの「チ」が3つも入っていることもその理由のひとつです。」

チンチラ国勢調査の途中集計を発表

初の記念日を迎えた1月18日に、『JCAチンチラ国勢調査』の途中集計を発表した。

同調査は、日本国内のチンチラの実態を把握し、法律(動物愛護法)の改正に繋げるための基礎資料の作成を目的としたもので、昨年12月18日に行われたチンチライベント『Chillastamas 2022』で発表し、同日より実施している。調査対象は、調査時において日本国内で愛玩動物として家庭で飼育されているすべてのチンチラ及び動物園やペットショップ、ブリーダー宅にて飼育されているチンチラである。

「チンチラの飼育方法や身体のしくみについては未解明なことも多く、まだまだ情報が少ないのが現状です。

欧米諸国では、うさぎやモルモットと同じようにブリーダー集団があり飼育書もたくさん出版されています。

飼育書の情報も貴重な情報ですが、高温多湿の日本国内、アジア圏では、通用しない所も多々あるのです。

チンチラの認知度が高まり、飼育者はここ数年で急激に増えている現在、その健康を守るための活動が早急に必要です。しかしながら、いまだ、国内での個体数の把握がなされていません。誰も、日本国内に何匹のチンチラが

いるのかわからないのです。

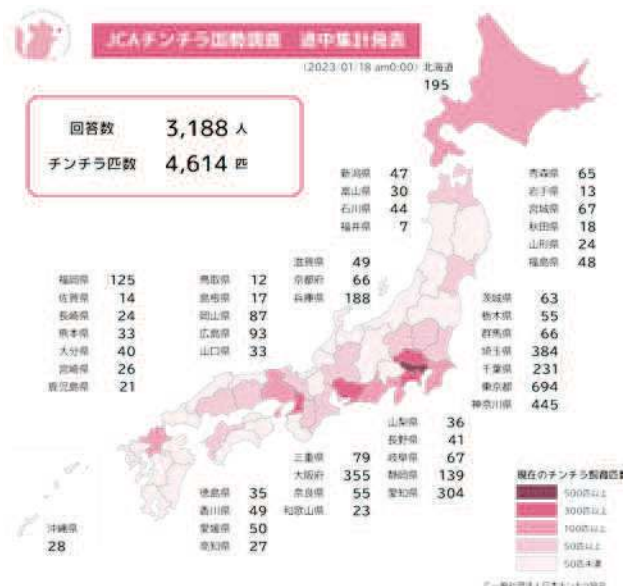
『チンチラ』という動物の適正な飼育環境とそれを守る活動のためには、まず個体数の調査が不可欠です。そこで、重要かつ基本的な統計調査となるため、日本で暮らす全てのチンチラを対象に実施しました。」(一般社団法人日本チンチラ協会)

※同調査項目

- ①住まいの都道府県
- ②オスの飼育匹数
- ③メスの飼育匹数

2023年1月18日0時現在で回答数3,188件、チンチラの匹数4,614匹の回答があった。

集計途中であるが、先ず47都道府県すべてから飼育しているチンチラの回答があり、すべての都道府県にチンチラが住んでいると分かった。

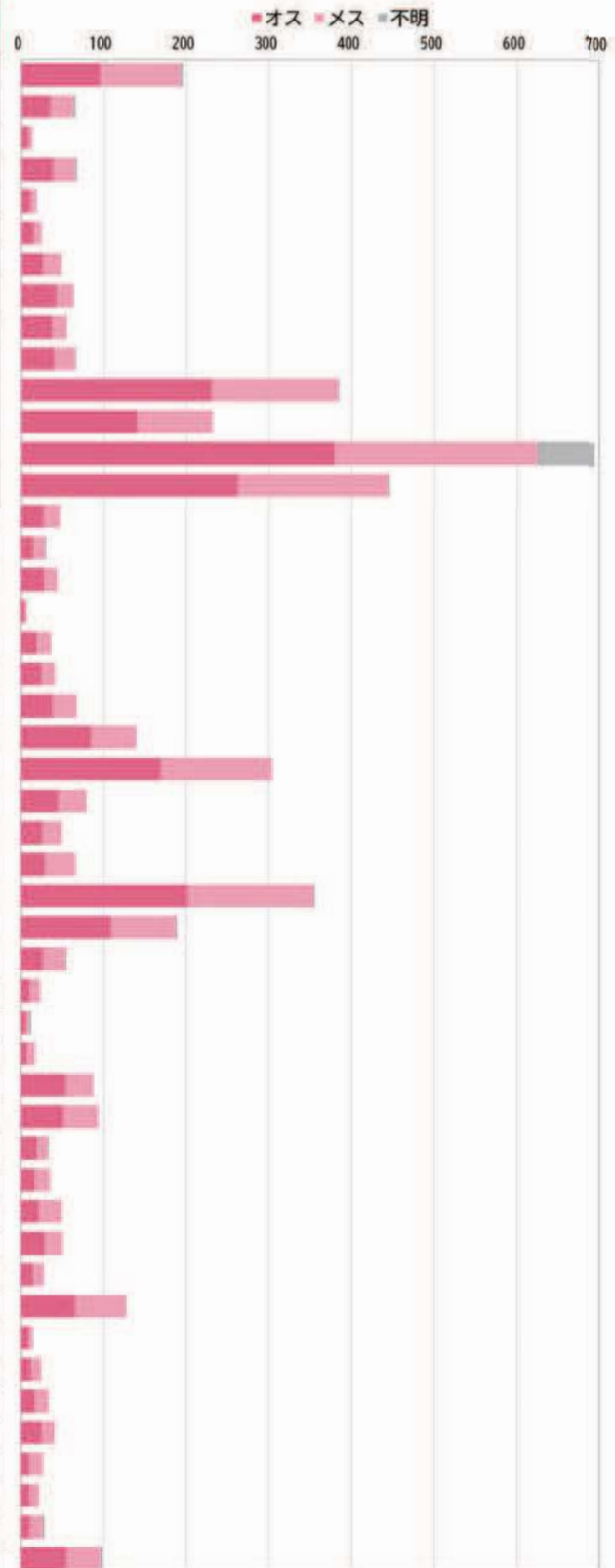




JCAチンチラ国勢調査 途中集計発表

(2023/01/18 am0:00)

都道府県	回答人数	チンチラ匹数				平均飼育 匹数
		オス	メス	不明	合計	
1 北海道	142	95	97	3	195	1.4
2 青森県	27	35	28	2	65	2.4
3 岩手県	12	8	5	0	13	1.1
4 宮城県	45	38	27	2	67	1.5
5 秋田県	10	11	7	0	18	1.8
6 山形県	15	15	9	0	24	1.6
7 福島県	36	26	22	0	48	1.3
8 茨城県	54	42	21	0	63	1.2
9 栃木県	49	37	18	0	55	1.1
10 群馬県	46	39	26	1	66	1.4
11 埼玉県	264	230	153	1	384	1.5
12 千葉県	177	140	91	0	231	1.3
13 東京都	424	379	245	70	694	1.6
14 神奈川県	302	262	182	1	445	1.5
15 新潟県	39	27	20	0	47	1.2
16 富山県	16	15	14	1	30	1.9
17 石川県	23	28	16	0	44	1.9
18 福井県	6	4	3	0	7	1.2
19 山梨県	25	19	17	0	36	1.4
20 長野県	31	25	16	0	41	1.3
21 岐阜県	48	38	29	0	67	1.4
22 静岡県	103	85	54	0	139	1.3
23 愛知県	216	169	135	0	304	1.4
24 三重県	45	45	34	0	79	1.8
25 滋賀県	35	26	23	0	49	1.4
26 京都府	52	29	37	0	66	1.3
27 大阪府	267	202	152	1	355	1.3
28 兵庫県	144	109	78	1	188	1.3
29 奈良県	34	26	28	1	55	1.6
30 和歌山県	19	11	12	0	23	1.2
31 鳥取県	8	6	4	2	12	1.5
32 島根県	14	7	10	0	17	1.2
33 岡山県	54	54	33	0	87	1.6
34 広島県	69	51	42	0	93	1.3
35 山口県	22	19	13	1	33	1.5
36 徳島県	17	17	18	0	35	2.1
37 香川県	26	21	28	0	49	1.9
38 愛媛県	38	29	21	0	50	1.3
39 高知県	16	15	12	0	27	1.7
40 福岡県	91	66	61	0	127	1.4
41 佐賀県	12	9	5	0	14	1.2
42 長崎県	11	12	12	0	24	2.2
43 熊本県	23	17	16	0	33	1.4
44 大分県	30	25	15	0	40	1.3
45 宮崎県	14	10	16	0	26	1.9
46 鹿児島県	16	10	11	0	21	1.3
47 沖縄県	21	11	15	2	28	1.3
都道府県平均	67.8	55.2	41.1	1.9	98.2	1.4
合計	3,188	2,594	1,931	89	4,614	



©一般社団法人日本チンチラ協会

—チラケア通信 10月号より—
チンチラの生態に関する統計「食事（牧草・ペレット・トリーツ）の時間」など

一般社団法人日本チンチラ協会(=JCA 鈴木理恵会長)発行の「チラケア通信 10月号」にチンチラの生態に関する統計「食事（牧草・ペレット・トリーツ）の時間」など紹介された。

JCA 会員の記録からチンチラの生態解明へつなげる情報としてチンチラ専用健康記録Web アプリ「Chilla-Care (チラケア)」に蓄積されたデータをまとめたもので、これらは定期的に基本情報（年齢別/性別ごとの登録数、都道府県別、カラー別の登録数ランキングなど）や統計などが会員に定期的に届けられている。

1. 食事（牧草・ペレット・トリーツ）の時間

チンチラの「食事」で記録の多い「牧草」「ペレット」「トリーツ」の3項目について、それぞれ何時に与えているのかを各項目ごとにグラフ化した。



トリーツは朝(6-7時台)、牧草は朝(7時台)と夜(20-22時台)の1日2回、ペレットは夜(19-22時台)が多い傾向になっている。特に顕著なのが朝のトリーツ。飼主から「おはよう」や「行ってきます」のコミュニケーションとしてトリーツが用いられているようだ。

2. 年齢別/性別登録比率



2022年9月30日時点で飼育されているチンチラ全体の平均年齢は4.44歳オス平均4.31歳、メス平均4.58歳。

都道府県別の登録数は東京都(19.7%)、神奈川県(13.1%)、大阪府(8.9%)、次いで千葉県(7.9%)、北海道(7.5%)となっている。



「チンチラは、日本ではまだまだ生態や病気の解明が遅れているのが現状です。

チンチラ専用健康記録Web アプリ「Chilla-Care(チラケア)」を活用することで、チンチラを心から愛する会員の皆さまと力を合わせて、チンチラの明るい未来を作っていきたいと願っています。」(一般社団法人日本チンチラ協会)

—(株)プラネット—

「プラネットトップセミナー2022」開催
井村雅代氏が基調講演

12月2日14時~18時30分、ザ・リッツカールトン東京において、プラネット(株)坂田政一代表取締役社長)主催の「プラネットトップセミナー2022」が開催された。

冒頭、(株)プラネット・玉生弘昌代表取締役会長が挨拶、続いて同・坂田政一代表取締役社長の「コロナ禍での活動報告、今後の方向性」について報告と説明を行った。同・ネットワーク推進担当の上原 英智執行役員が「ロジスティクス EDI 活用のご提案」のプレゼンテーションが続いた。

基調講演は「約束を果たして手にしたメダル〜輝くために私がしたこと〜」の演題で、アーティストックスイミグ コーチ井村雅代氏を招いて行われた。

セミナー修了後には懇親会が開かれ、情報交換、親睦が図られた。

玉生弘昌代表取締役会長の挨拶では、会社概要を始めとして、売上成長性、取引先データベース約43万件、商